

福祉施設におけるレクリエーション指導に関する研究

ーレクリエーション援助者に注目してー

○立木 宏樹 (九州保健福祉大学)

秋吉 嘉範 (九州保健福祉大学)

1. はじめに

21世紀には先進国のすべてで超高齢化社会が顕在化するといわれている。我が国においても、例外ではなく、新世紀早々には、高齢者が人口の5分の1を占めることとなる。このような状況の中、高齢者問題は社会の中心的課題のひとつとなり、医療・保健・社会福祉等様々な分野でその施策は進められている。近年、我が国において医療・保健・社会福祉の分野におけるレクリエーションはその地位を確立しつつある。特に社会福祉の分野では、介護福祉士養成課程において「レクリエーション指導法」が必修科目として位置付けられていることからわかるように、高齢者の生きがいに深く関わるものとして認められている。

社会福祉領域におけるレクリエーションについて、垣内¹⁾は「生活を楽しみ、明るくし、快くするための一切の行為である。行為とはただ単に四肢のみの行為ではなく、視覚、聴覚、嗅覚、触覚に関する一切の行為を含む」と定義しており、レクリエーションは生活全体と密接な関係にあり、生活を快くするものとして捉えている。また同時に、レクリエーションの枠について、経済的保障を土台とし、やすらぎ、ふれあい、行事・文化的活動、教育・治療という枠組みを提示している。一方、千葉²⁾は、福祉レクリエーションについて、「心身の疾患・機能や能力障害あるいは生活上の諸問題により、その生活の質的維持・向上(QOL)に困難を来している人々が心身の健康や生活の質的維持・向上を目標として、必要に応じて専門職やボランティアの支援を求めながら行うレクリエーション」として捉えている。これらレクリエーションの概念定義やその機能については様々な理論構築がなされている。しかし、こうした理論構築がなされている一方で、施設等の現場においてレクリエーション指導・援助がどのように捉えられ、実践されているかについては、曖昧さを残しているといえるのではないだろうか。

そこで本研究では、高齢者を対象とした福祉施設において、実際レクリエーション活動を提供する職員スタッフがレクリエーションの機能についてどのような認識を持っているのかについて分析、検討していきたい。

2. 先行研究の検討

福祉施設で提供されるレクリエーションに関する研究は数多く行われている。レクリエーションのもつ機能に関して、千葉³⁾は解放機能、身体機能、精神機能、交流機能、活性機能の5つを挙げている。また、原田⁴⁾らは心身の調和、自己実現、社会化の3点を挙げている。野々宮⁵⁾は、福祉領域におけるレクリエーションを介護レクリエーションと表現しその機能の柱として、やすらぎ、心身機能の維持、自己啓発の3つを挙げている。一方、レクリエーションの指導・援助者自身に注目したものはそれほど多くはない。松永⁶⁾は、介護福祉士の養成課程と現場経験の中から介護福祉におけるレクリエーションの重要性を明らかにしている。また、山崎、上野⁷⁾は、デイサービスのプログラミングとレクリエーション担当者のレクリエーション観に注目し、レクリエーション担

当者は、非常に狭い意味でのレクリエーション観、誤ったレクリエーションのイメージを持っていることを指摘している。前者はレクリエーションの機能的部分を指摘しているのに対し、後者の研究ではレクリエーション援助者についての指摘を行っている。本研究では、前者、後者を結びつけるものとして、レクリエーションの機能に関する理論的背景を基に、現場で実践するレクリエーション援助者に注目し、分析・検討するものである。

3. 研究の目的

本研究は、高齢者を対象とした福祉施設において、レクリエーション援助を行う職員スタッフがレクリエーションの持つ機能に対してどのような認識を持っているかについて明らかにすることを目的とするものである。

4. 分析の枠組み

本研究では福祉施設の職員スタッフを対象にレクリエーションの持つ機能に関して、どのような認識を持っているかを明らかにする。その際の調査項目として、レクリエーションの機能に関する認識については千葉⁸⁾が作成した調査シートを参考に作成した。

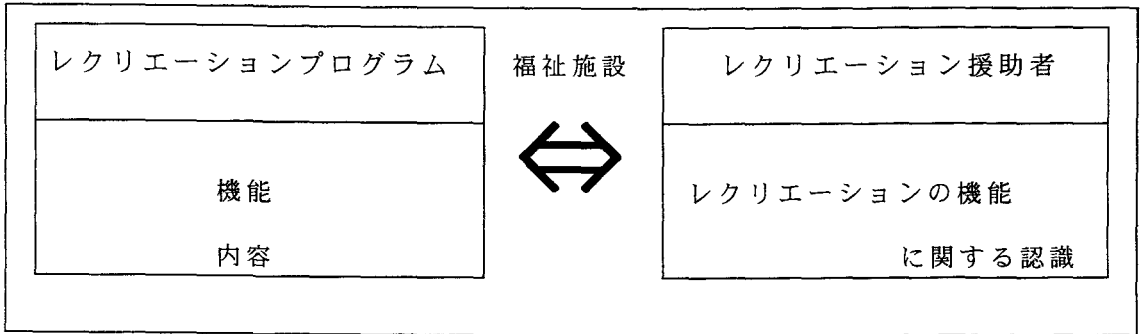


図 1 分析の枠組み

表 1 調査概要

調査時期	平成 11 年 9 月
調査対象	N 市の福祉施設の職員スタッフ
調査方法	質問紙を用い、施設代表者による配布回収法

調査項目

【個人的属性】

1. 性別 2. 年齢 3. 最終学歴 4. 資格
5. 現在の施設で従事年数 6. 福祉関連職の従事年数
7. レクリエーションに関する資格 8. レクリエーション指導の経験

【レクリエーションに対する認識(機能)】

1. 身体機能 2. 精神機能 3. 社会機能 4. 解放機能 5. 活性機能